

## 滑川事業所におけるPPAモデルを活用した太陽光発電システムの導入 ～カーボンニュートラルの推進に向けた再生可能エネルギーの活用～

株式会社不二越(本社:東京都港区、代表取締役 社長執行役員:黒澤 勉、以下「当社」と日本海ガス 絆ホールディングスグループの日本海ガス株式会社(本社:富山県富山市、代表取締役社長:土屋 誠、以下「日本海ガス」)は、太陽光発電システムPPAモデル(第三者所有モデル)に関する契約を締結し、当社滑川事業所にて太陽光発電システム 1,447.68kW を運用開始しましたことを下記のとおりお知らせいたします。

当社はカーボンニュートラルに向け、2022年より富山事業所での再生可能エネルギー導入を進めてまいりました。今回、滑川事業所において、PPAモデルを活用した太陽光発電システムを初めて導入いたしました。

PPA事業者である日本海ガスは、当社の事業所内に機器を設置し、発電した電力を当社へ全量供給するエネルギーサービスを行います。


この度の導入により、すでに導入済みの富山事業所と合わせると、太陽光発電システムは合計2,342.86kWとなりました。これにより、合計で年間約1,000tのCO<sub>2</sub>排出量削減\*が見込まれます。

当社は、引き続き再生可能エネルギーの導入・普及などを通じ、気候変動への対応を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※CO<sub>2</sub>排出削減想定量は、「地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック」(環境省 地球環境局発行 令和6年4月改訂)に基づき算出

### 記

#### ◆導入システム概要

設置機器	自家消費型太陽光発電システム 1,447.68kW(パネル 3,016 枚) 遠隔監視・計測システム 非常用コンセント
設置場所	株式会社不二越 滑川事業所 油圧モータ第2工場 富山県滑川市大掛176番地
導入目的	① カーボンニュートラル実現に向けた取り組み ② 再生可能エネルギーの地産地消(自家消費モデル) ③ 環境関連法規への対応(省エネルギー法、工場立地法) ④ 停電時の緊急電源としての活用(レジリエンスの強化) 



自家消費型太陽光発電システム(滑川事業所 油圧モータ第2工場)

◆PPAモデル(第三者所有モデル):

電力使用者(当社)が敷地や屋根などのスペースを提供し、太陽光発電設備の所有・管理を行う PPA事業者(日本海ガス)が発電システムを設置して、そこで発電された電力を電力使用者へ供給する契約形態です。

◆本件に関するお問合せ

株式会社 不二越

TQC・TPM 推進本部 エネルギー課 喜内

TEL:076-423-6523